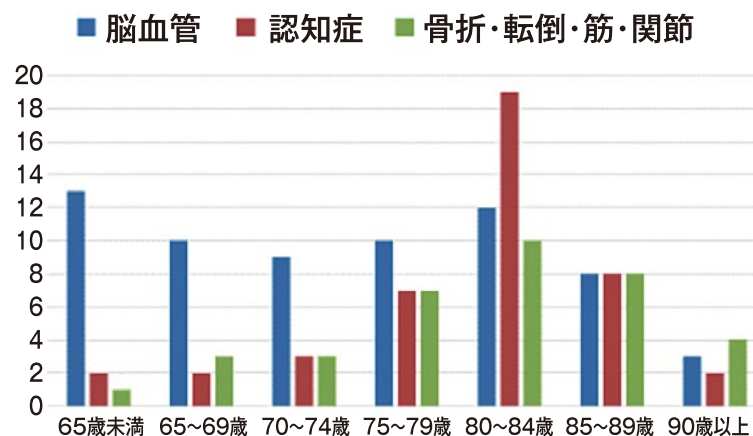


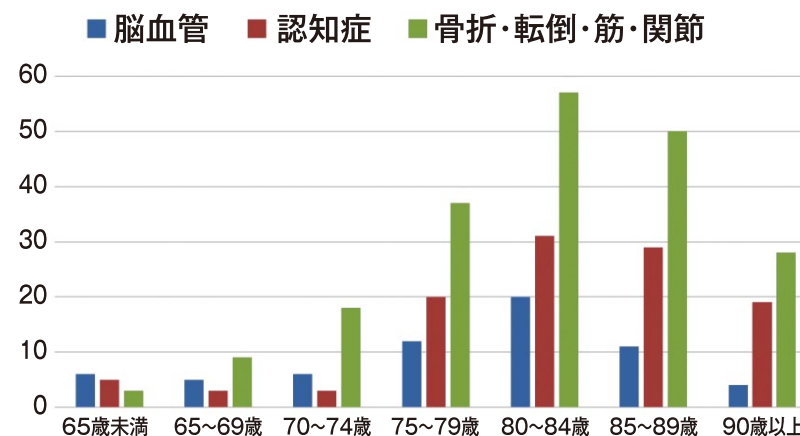
H25-27男性・原因疾患別年齢別
新規要介護認定申請者数(人)

申請者数
男177人
女407人



H25-27女性・原因疾患別年齢別
新規要介護認定申請者数(人)

申請者数
男177人
女407人



静岡県が発表している「お達者度」とは 65 歳から元気で自立して暮らせる期間のことです。平成 25 年度、函南町の男性は 26 位で 17.15 年、女性は 11 位で 21.21 年です。しかし 75 歳から要介護認定申請する人が急増し女性は要介護の期間が長いです。要介護状態となる原因は女性は筋力低下や腰痛膝痛、男性は脳血管疾患が多く、認知症は男女とも増えています。

第2回目

居場所づくり

第 2 回のテーマは「居場所づくり」です。地域で自然に人と人とがふれあい、楽しみながら助け合える関係づくりができることをめざしています。居場所は生きがい・役割づくりだけでなく、様々な効果があります。自宅から歩いて行ける所に交流の場があれば体力づくりにもなります。おしゃべりすることは認知症やうつ予防や、かんたんに飲み込んだり食べるための口の機能向上にもつながります。手芸など趣味活動の輪も広がります。全国で実施している居場所の事例を紹介しました。運営のポイントや会場、リーダー、食事の提供、会費や補助金などについて学びました。送迎や内容について意見が出されました。12 月には「ふらっとステーションとつか」に視察に行きました。



居場所づくりに取り組もう!「はじめの一步」を踏み出す勉強会(2/22)
居場所をはじめた「カフェ城山」の片岡さんにもお話を伺いました。家族の理解と協力を得て、マイペースで開いています(不定休)

実践した内容以上に、健康への効果が期待できます



第3回目

買物支援

「外出支援をお互い様でつくる」をテーマに認定 NPO 法人かながわ福祉移動サービスネットワークの地域公共交通マイスター清水弘子先生にお話ししていただきました。畑に行けなくなり閉じこもることがないように地区でワゴンバスを走らせたり、サロンに集まった高齢者を対象に 300 円で買物の送迎をする取組などの紹介がありました。

第4回目

ボランティアのしくみ

実際にどんな助け合いに参加してみたいかグループで話し合いました。グループは「居場所づくり」「外出支援」「介護予防(体操)ボランティア」「生活支援ボランティア」活動内容や目的、会場、PR 方法、必要な物、人数、わからないことなどについて話し合いました。平成 29 年度からは、希望のある地区から「地域の支えあい勉強会」を開催し、地区で実際の支えあいの活動が始められるよう準備を進めます。ちょっとしたお手伝いをしてみたい方は生活支援コーディネーターまでご相談ください。